



弘前大学グロウカルファンド「八戸菊プロジェクト」成果報告会

八戸菊の世界

— 香月園所蔵『菊押葉添句標本帖』を通して —



2018年

2月4日 日

(開場12:30)

13:00~15:50

入場無料 先着40名

弘前大学八戸サテライト

(八戸市堀端町2-3 八戸商工会館 1階)

【事前申込不要】

主催 国立大学法人弘前大学

共催 株式会社香月園

後援 八戸市 八戸菊花会 八戸菊研究会

デーリー東北新聞社 東奥日報社 陸奥新報社

【お問合せ先】弘前大学人文社会科学部 (総務グループ 葛西)

TEL:0172-39-3192 MAIL: jm3192@hirosaki-u.ac.jp 受付時間:月~金 9:00~17:00

弘前大学グロウカルファンド「八戸菊プロジェクト」成果報告会 八戸菊の世界 – 香月園所蔵『菊押葉添句標本帖』を通して –

開催趣旨



現在、八戸市所在で造園業を営む香月園は、江戸時代から造酒屋河内屋の園芸部門として、菊花の栽培をしていました。この度、香月園の蔵書の中に、明治期に作られた『菊押葉添句標本帖』（仮称）が発見されました。この本は、当時栽培されていた菊の葉を押葉にして菊の品名を記し、短冊に書いた「句」を添えたものです。また押葉の中には、八戸の食用菊「阿房宮」の親とされる「黄宝珠」の葉が確認できました。阿房宮の来歴の解明に貢献できると考えています。

この貴重な書物を研究するために、平成29年2月から「八戸菊プロジェクト」を始めました。現在、菊葉の遺伝学的研究を山形大学の小笠原先生が、添句の分析を弘前大学の渡辺先生と研究室の学生が行っています。研究の結果、これまで明らかになった添句の内容や明治期の八戸の文学環境について、広く八戸市民の皆様へ報告するために、今回この成果発表会を開催いたします。

ご関心のある方はどなたでも、是非ご来場下さい。

会場アクセス

弘前大学八戸サテライト TEL・FAX: 0178-43-1600
受付時間: 月～金 10:30～17:30
(八戸市堀端町2-3 八戸商工会館 1階)



JR八戸線本八戸駅から
徒歩で約10分

東北自動車道八戸ICから
車で約15分

※駐車場はございませんので、
公共の交通機関をご利用いただくか、
近隣の有料駐車場をご利用ください。

プログラム

総合司会 弘前大学 研究・イノベーション推進機構 URA 山科 則之

13:00 開会の辞

弘前大学 人文社会科学部 教授 渡辺 麻里子

第一部 八戸菊について

13:10～13:40 【発表1】香月園と菊の歴史

株式会社香月園 専務取締役 橋本 修氏

13:40～14:00 【発表2】食用菊のルーツをさぐる

山形大学 農学部 准教授 小笠原 宣好氏

(休憩10分)

第二部 『菊押葉添句標本帖』と添句について

14:10～14:20 【発表3】布引瀧の句について

弘前大学 人文学部 4年 達谷窟 佐紀

14:20～14:25 【発表4】歌枕高砂について

弘前大学 人文学部 4年 内海 弥生

14:25～14:30 【発表5】羅城門の鬼

弘前大学 人文学部 4年 畑山 佳奈子

14:30～14:35 【発表6】籠の梅伝説

弘前大学 人文学部 4年 福士 ちひろ

14:35～15:00 【発表7】

香月園所蔵『菊押葉添句標本帖』と文学世界

弘前大学 人文社会科学部 教授 渡辺 麻里子

(休憩10分)

第三部 ディスカッション

15:10～15:20 【コメント1】奥州菊について

八戸菊花会 会長 工藤 亮悦氏

15:20～15:30 【コメント2】菊の郷・八戸について

デーリー東北新聞社 論説委員 大向 富美郎氏

15:30～15:40 ディスカッション

15:40 閉会の辞

農林水産省産学連携支援コーディネーター 野呂 治氏